

課題名

43. 園内の明るさとキウイフルーツの果実肥大・品質

成果の概要

11年生（高接ぎ5年後）のヘイワードを供試し、遮光程度が果実肥大・品質、次年度の着果に及ぼす影響について検討した。

- (1) 果実の肥大は、1枚区が最も良く、ついで2枚区、4枚区、3枚区の順であった。
- (2) 糖度も1枚区が最も高かったが、一定の傾向はみられなかった。
- (3) 棚面の照度は寒れいしゃの枚数が多くなるほど低くなった。
- (4) 光合成速度は寒れいしゃの枚数が多くなるほど低くなり、気孔抵抗も同様の傾向であった。
- (5) 次年度の新梢の発生及び着果数も寒れいしゃの枚数が多くなるほど少なかった。

成績

表1 遮光処理が果実の品質に及ぼす影響

処理区	果実重 (g)	糖 度	酸 含 量 (mg/100g)
1 枚	125.7	14.0	0.34
2 枚	107.9	12.5	0.39
3 枚	88.2	12.8	0.50
4 枚	103.5	13.1	0.44

調査月日：12月1日

概要

表2 遮光処理が照度及び光合成速度に及ぼす影響

処理区	照 度 (klux)	遮光率 (%)	光合成速度 (mg/dm <sup>2</sup> /h <sup>-1</sup> )	気孔抵抗 (cm/sec)
1 枚	48.6	44.2	18.21	1.11
2 枚	28.5	67.3	6.17	0.49
3 枚	14.2	83.7	6.51	0.38
4 枚	8.6	90.1	0.99	0.25

調査月日 照 度：7月17日（曇天）  
光合成：6月22日

要

成

表3 遮光処理が次年度の発芽及び着果に及ぼす影響

処理区	発生新梢数	不発芽数	着果数
1 枚	12.8	9.0	10.3
2 枚	10.0	12.5	7.0
3 枚	6.5	9.0	7.3
4 枚	7.3	10.5	4.8

(1㎡当たり、6月14日調査)

績

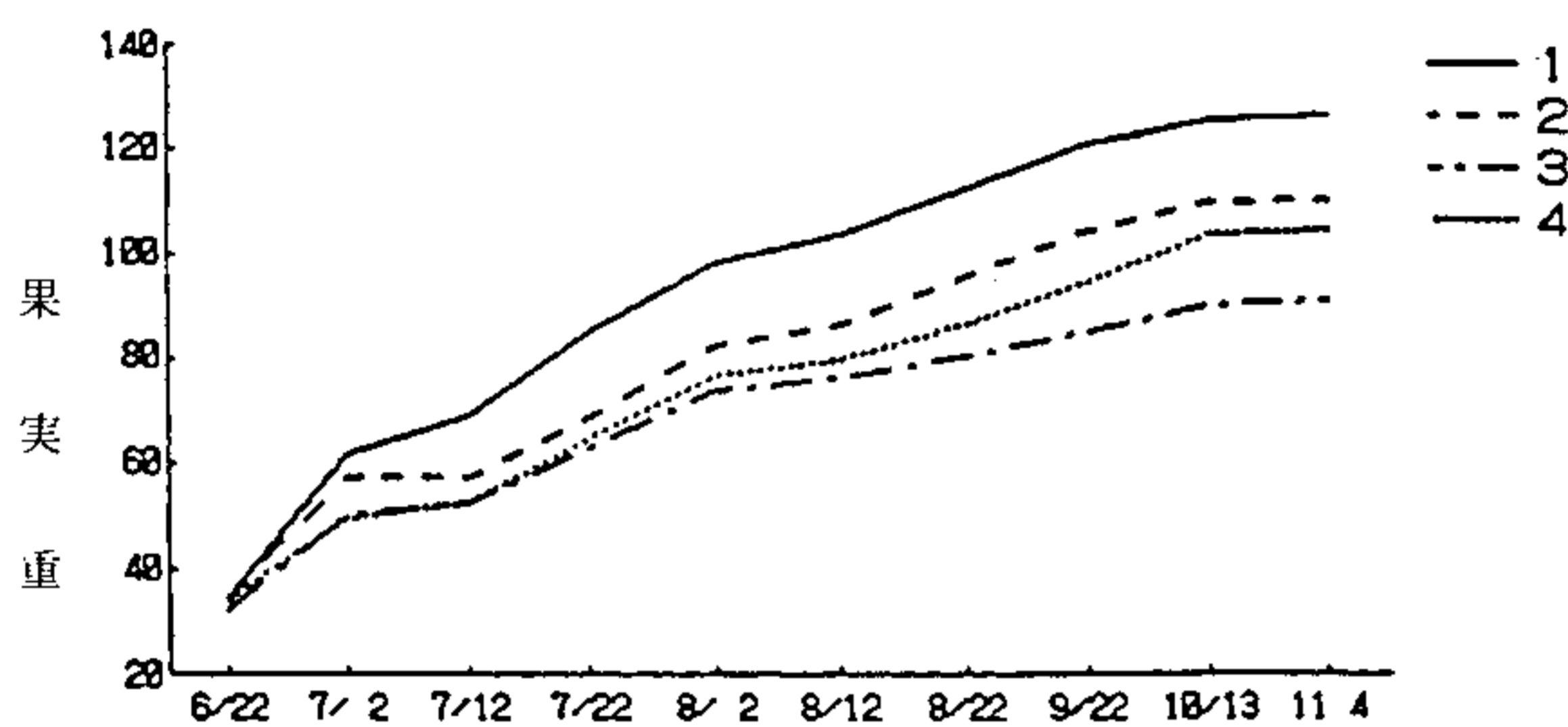


図1 遮光処理が果実の肥大に及ぼす影響

(果樹試験場)

要

普及上の留意点